

■北野 啄夢（きたの・たくむ） 北星学園大 WR/LB/P 4年

昨季の道学生選手権（秋季リーグ）は1部Bブロックの2位。室蘭工業大に不戦勝したものの、唯一の実戦となった北海学園大には大差で敗れた。悔しさだけが残るシーズンになった。巻き返しを期す2021年、19人の選手を引っ張る主将として開幕を待つ。

旭川南高ではサッカー部。大学のサッカー部に物足りなさを感じていた時に、身長178センチの体に目を付けたアメフト部の先輩に、熱烈に勧誘された。「北海道制覇に向けて一緒にやろう」が殺し文句だった。初めてのコンタクト練習で弾き飛ばされ、「体を鍛えなきゃ」と決意したという。1年生の秋にはすっかり、アメフトにとりつかれた。色んな体型やタイプの選手がいて、その人にあったポジションがあり、それを生かすプレーがある。「システムを理解するにつれ、おもしろくなってきた」と振り返る。



1年生から務めるWR。パス攻撃が自慢の北星学園大の花形ポジションだ。2019年シーズンには当時4年生の先輩がリーディングレシーバーにも輝いた。

「1年生の帯広畜産大戦で初めてキャッチしたときが忘れられない」という。今は「みんなの努力がこもった一投」と捕球の重みを感じながら「取って当たり前。キャッチ後にどれだけ稼げるか」と攻撃リーダーの重責を自覚する。

忘れられないプレーがある。2年生の2019年の北海学園大戦。第4Q残り4分で、北星学園大がTDパスを決めて22-19と逆転に成功した。前年のリーグ覇者を破る金星をつかんだかに見えた。しかし、終了間際の残り26秒に北海学園大が再逆転のTDパス。LBとして目の前で悪夢を見せつけられた。「今度こそ」と臨んだ昨季も、部員不足もあり大敗で跳ね返された。

3度目の緊急事態宣言の発令で今季の1部リーグの開幕が9月26日に再延期され、昨季に続いて2ブロック制になることが急遽決まった。北星学園大は北海学園大、室蘭工業大と同じAブロックになる。2年前の「忘れ物」を取りに行く舞台は整った。「あと一歩で勝ちを逃した2019年、そして去年の悔しさは忘れていない。今年もパスで勝負する」と力強く宣言した。

【プロフィール】

1999年9月14日、旭川市生まれ。経済学部経済学科。旭川南高出身。178センチ、82キロ。